

人体構造学概論 担当講座（分野）：解剖学講座（機能形態学分野）

第1学年 後期

後期 講義
28.5時間

■ 一般目標（講義）

ヒトの体の基本的な構造を理解するために、形態の普遍性と変異を理解することにより、形態の意義、構造の理由を個体発生・系統発生的に理解し、次年度に学ぶ機能的な学問の基盤とする。

■ 講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
9月12日(水) 1、2限	藤村朗教授	解剖学概論 解剖学用語 骨学概論 医学の中における解剖学の足跡と身体の方角用語、解剖学名を理解する。 骨の肉眼的構造と関節を理解する。	1. 身体を構築する各器官系について説明できる。 2. 人体の基準単位を説明できる。 3. 変異と以上の相違を説明できる。 4. 身体の方角用語を説明できる。 5. 身体の解剖学名を説明できる。 6. 骨の2つの形成様式の相違を説明できる。 7. 骨の肉眼的構造を説明できる。 8. 関節の構造と運動を関連して説明できる。 9. 骨年齢を説明できる。
9月19日(水) 1、2限	藤村朗教授	骨学：頭蓋冠 骨学：内・外頭蓋底 頭蓋骨を構成する骨を理解し、それぞれの縫合と形成を理解する。 頭蓋骨を構成する骨を理解し、それぞれの縫合と形成を理解する。 エックス線写真の読影にかかわる骨学を理解する。	1. 頭蓋骨の基本的配列を説明できる。 2. 頭蓋骨相互の関節（縫合）を説明できる。 3. 咀嚼筋の起始と停止を説明できる。 4. 縫合の加齢変化を説明できる。 5. 脳頭蓋を説明できる。 6. 内頭蓋底の神経、血管の通路を説明できる。 7. 外頭蓋底の特徴を説明できる。 8. 外・内頭蓋底の関連性を説明できる。 9. 頭蓋底を区分して説明できる。 10. 頭蓋骨の基準平面を説明できる。 11. 頭蓋骨計測点を説明できる。 12. X線セファログラムの計測点を説明できる。
9月26日(水) 1、2限	藤村朗教授	骨学：頭蓋前面 眼窩・鼻腔 分離骨、連骨を用いて顔面骨・眼窩の構築を理解する。	1. 眼窩と交通する経路および通過する構造物を説明できる。 2. 頭蓋腔と交通する経路および通過する構造物を説明できる。 3. 鼻中隔を構成する骨を説明できる。 4. 鼻腔を構築する骨の位置関係を説明できる。 5. 鼻甲介と鼻道を関連的に説明できる。 6. 副鼻腔について説明できる。 7. 副鼻腔の鼻腔への開口部を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
10月17日 (水) 1限	藤村朗教授	骨学：口蓋・翼口蓋窩 骨学：上顎骨・蝶形骨 分離骨、連骨を用いて顔面骨・翼口蓋窩の構築を理解する。 上顎骨の形態と上顎神経の経過を理解する。 蝶形骨の形態と孔、裂を理解する。	1. 翼口蓋窩と周囲腔の交通を説明できる。 2. 頭蓋腔と交通する経路および通過する構造物を説明できる。 3. 骨口蓋の構造と接続を説明できる。 4. 頭蓋骨における上顎骨の位置を説明できる。 5. 上顎骨と接合する骨を説明できる。 6. 口蓋の構成を説明できる。 7. 鼻腔の構成について説明ができる。 8. 上顎の歯の植立を説明できる。 9. 上顎洞について説明ができる。 10. 上顎歯牙に分布する神経の経路が説明できる。 11. 蝶形骨の基本構造が説明できる。 12. 側頭骨、蝶形骨の接続を説明できる。 13. 蝶形骨の管、孔を通過する神経を説明できる。
10月24日 (水) 1限	藤村朗教授	骨学：側頭骨 側頭骨の基本的な形態と鼓室と機能を理解する。	1. 側頭骨基本構造が説明できる。 2. 顔面神経管の特徴を説明できる。 3. 鼓室の特徴を説明できる。 4. 側頭骨の管、孔を通過する神経を説明できる。
11月7日(水) 1限	藤村朗教授	骨学：下顎骨・舌骨 下顎骨の形態と筋肉の付着、下歯槽神経の分布を理解する。	1. 咀嚼筋の付着部位を説明できる。 2. 顎関節の構造を説明できる。 3. 舌骨上筋の付着部位を説明できる。 4. 下顎歯牙の植立を説明できる。 5. オトガイの存在理由を説明できる。 6. 下顎歯牙に分布する神経の経過を説明できる。 7. 頬筋ならびに頬棚について説明できる。 8. 臼後隆起と臼後三角の関連について説明できる。
11月14日 (水) 1、2限	藤村朗教授	骨学：頭蓋骨のまとめ 骨学：椎骨・肋骨 骨の肉眼的構造と関節を理解する。 椎骨の基本的な形態と脊柱としての機能を理解する。	1. 頭蓋骨の連結を説明できる。 2. 孔、裂等の通過構造物を説明できる。 3. 筋肉の付着部位を説明できる。 4. 眼窩、鼻腔、口腔を構成する骨を説明できる。 5. 骨の2つの形成様式の相違を説明できる。 6. 骨の肉眼的構造を説明できる。 7. 関節の構造と運動を関連して説明できる。 8. 骨年齢を説明できる。 9. 椎骨の基本構造が説明できる。 10. 各椎骨の特徴を説明できる。 11. 椎骨の彎曲と体重支持の関連性について説明できる。 12. 肋骨の連結と胸郭の構造を説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
11月21日 (水) 1、2限	藤村朗教授	<p>骨学：上肢骨・下肢骨・骨盤</p> <p>四肢骨の基本としての上肢骨の構成を理解する。荷重を支える構造を理解する。</p> <p>上肢骨を基に我々が二足歩行を行うことにより下肢がどの様に変化したかを理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上肢帯を構成している骨を列挙できる。 2. 肩甲骨の形態と他の骨との関節を説明できる。 3. 鎖骨の形態と他の骨との関節を説明できる。 4. 上腕骨の形態と特徴を説明できる。 5. 肘関節の構造を説明できる。 6. 橈骨と尺骨の形態と、それらの違いを説明できる。 7. 手根骨とその化骨年齢を説明できる。 8. 中手骨と指骨との違いを説明できる。 9. 下肢骨の基本構造が説明できる。 10. 寛骨の構造を説明できる。 11. 大腿骨の特徴を説明できる。 12. 下腿骨の特徴を説明できる。 13. 足骨の特徴を説明できる。 14. 脊椎との連結と骨盤の構造を説明できる。 15. 股関節の特徴を説明できる。 16. 膝関節と体重支持の関連性を説明できる。
11月28日 (水) 1限	藤村朗教授	<p>筋学概論</p> <p>全体としての頭蓋骨を理解する。</p> <p>運動器としての筋肉の特性、推進軸と筋肉の配列を理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 骨格筋の基本配列を説明できる。 2. 背側筋群と腹側筋群の違いを説明できる。 3. 筋の起始と停止を説明できる。 4. 筋の作用について説明できる。 5. 筋の補助装置を説明できる。
12月5日(水) 1限	藤村朗教授	<p>筋学：体幹・上肢・下肢の筋肉</p> <p>運動器としての筋肉の特性、推進軸と筋肉の配列を理解する。</p> <p>上肢、下肢の筋肉の特徴を理解する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 体幹の筋肉を区分できる。 2. 脊柱起立筋を説明できる。 3. 胸腔を囲む筋肉を説明できる。 4. 腹腔を囲む筋肉を説明できる。 5. 胸腔と腹腔を構成する筋肉を説明できる。 6. 上肢帯の筋肉を説明できる。 7. 自由上肢の筋肉を説明できる。 8. 主動筋と拮抗筋の働きを説明できる。 9. 下肢帯の筋肉を説明できる。 10. 自由下肢の筋肉を説明できる。 11. 上肢と下肢の筋肉の違いを説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
12月12日 (水) 1限	藤村朗教授	筋学：咀嚼筋 筋学：表情筋 咀嚼筋の構造と作用を理解する。 表情筋の構造と作用を理解する。	1. 各咀嚼筋の構造と作用を説明できる。 2. 咀嚼筋の総合的な機能を説明できる。 3. 咀嚼筋の神経支配を説明できる。 4. 咀嚼筋の栄養血管を説明できる。 5. 咀嚼筋隙を区分して説明できる。 6. 表情筋の構造と作用を説明できる。 7. 口裂周囲筋の構造と作用を説明できる。 8. 頬筋の構造と作用を説明できる。 9. 表情筋の総合的な機能を説明できる。 10. 表情筋の神経支配を説明できる。 11. 表情筋の栄養血管を説明できる。 12. 口角結節の構造を説明できる。
12月19日 (水) 1限	藤村朗教授	筋学：舌骨筋 筋学：頸筋と筋膜 舌骨上筋と舌骨下筋の構造と作用を理解する。 側頸筋と頸椎筋ならびに頸筋膜の拡がりを理解する。	1. 舌骨上筋の構造と作用を説明できる。 2. 舌骨下筋の構造と作用を説明できる。 3. 舌骨筋の総合的な機能を説明できる。 4. 舌骨筋の神経支配を説明できる。 5. 側頸筋の構造と作用を説明できる。 6. 頸椎筋の構造と作用を説明できる。 7. 頸筋の神経支配を説明できる。 8. 頸筋膜を区分して説明できる。 9. 頸部の筋隙を炎症の波及の観点から説明できる。
1月9日(水) 1、2限	藤村朗教授	筋学：顎関節（咀嚼様式・ヒトの顎関節の特徴） 顎関節の形態と進化を咀嚼様式から理解する。 ヒトの顎関節の形態を理解する。	1. 顎関節の特徴を説明できる。 2. 蝶番運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 3. 臼磨運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 4. 前後運動と関連する顎関節の形状を説明できる。 5. 複関節を説明できる。 6. 橢円関節の特徴を説明できる。 7. 複関節を説明できる。 8. 雑食性動物の顎関節を説明できる。 9. ヒトの顎関節の形態を説明できる。 10. 側方運動と顎関節の相関性を説明できる。 11. 顎関節を動かす筋肉を説明できる。 12. 顎関節の支配神経を説明できる。

■ 教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	図説 口腔解剖学 1,2 巻 第3版	上條雍彦 著	アナトーム社	2006年-2007年
教	自分でつくるぬりえ 口腔解剖学ノート 4版	高橋和人、野坂洋一郎 編著	学建書院	1998年
教	ヴォルフカラー 人体解剖学図譜	Petra Kopf-Maier、井上貴央 編	西村書店	2011年

	書名	著者氏名	発行所	発行年
参	分冊解剖学アトラス 6 版 全3冊	Werner Platzeほか著、平田幸男 訳	文光堂	2011年
参	グレイ解剖学アトラス	R.L.Drakeほか著、塩田浩平 訳	エルゼビア・ジ ヤパン株式会 社	2008年
参	口腔解剖学	井出吉信ほか編	医歯薬出版	2009年
参	分担 解剖学 改訂11版 全3巻	森於菟ほか著	金原出版	1982年
参	日本人体解剖学 19版 全3巻	金子丑之助 原著	南山堂	2000年

■ 成績評価方法

<p>小テスト（30%）、定期試験（40%）、スケッチ・レポート（20%）、出欠（10%）の合計で65%以上を合格とする。欠席届のない欠席は大きく減点する。</p>
--

■ オフィスアワー

氏名	方式	曜日	時間帯	備考
藤村 朗	B-i	月～金	随時	不在の時には教室員に伝言または e-mail を利用する。 akifuji@iwate-med.ac.jp
安藤 禎紀	B-i	月～金	随時	不在の時には教室員に伝言または e-mail を利用する。 yoando@iwate-med.ac.jp
鍵谷 忠慶	B-i	月～金	随時	不在の時には教室員に伝言または e-mail を利用する。 tkagiya@iwate-med.ac.jp

■ 授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
講義・研究	デジタルマイクロスコープ 一式	1	実験・実習資料のデジタルデータ採取、保存。講義での供覧。